

令和 3年度予算見積調書(6月補正予算)

課室名: 生産振興課
 担当名: 主穀担当
 内線: 4145

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B2	新市場開拓に向けた水田リノベーション事業		一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	米麦産地育成対策費	
事業期間	令和 3年度	根拠法令	新市場開拓に向けた水田リノベーション事業実施要綱第 2 の 2		宣言項目	09 儲かる農業の推進	SDGsゴール	2, 12
					分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立	SDGsターゲット	2-3, 12-3
1 事業概要			5 事業説明					
<p>主食用米の需要が減少する中、水田農業を活性化させていくためには輸出用米を始め、加工用米や野菜など今後成長が見込まれる需要に対応していく必要がある。 また、産地と実需者の結びつきを強化して、両者の連携に基づき需要に応じた生産及び更なる需要の創出・拡大に向けた推進が重要である。 このため、製造機械・施設等の導入を支援する。</p> <p>(1) 需要創出・拡大のための機械・施設の整備支援事業 291,393千円</p>			<p>(1) 事業内容 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業における需要創出・拡大整備支援事業（7月～3月） 輸出等の需要に応じた加工品の生産体制の強化や国産原材料への切替のために必要となる機械・施設の整備を支援する。 総事業費 641,064千円 補助金額 291,393千円</p> <p>(2) 事業計画 荷受及び貯蔵施設の整備 1件 (原料サイロ(20トン×7基)等)、加工施設(建屋260㎡、95㎡)、無洗米機(能力3t/h)、製造ライン改良等)</p> <p>(3) 事業効果 鴻巣地域農業再生協議会管内の生産者と約300tの加工用米出荷契約を行い、現在MA米を原料としてる上新粉の一部を国産に切り替える。 整備する原料サイロを活用し、投入作業を省力化することで、人件費および運搬費を圧縮し、MA米と国産米の価格差に充てることができる。 価格を抑えた上で国産という付加価値をつけ、国産需要の創出を図る。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (国1/2、県0)事業者1/2								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	291,393	国庫支出金					0	291,393
現計額	0						0	